

健康生活支援課

VI 健康生活支援課の業務概要

健康生活支援課は、疾病関係として結核予防事業、感染症予防事業、エイズ予防対策事業、原爆被爆者対策事業について医療、教育機関等の関係機関と連携を図りながら業務を行っている。食品衛生関係として、流通食品の安全確保、飲食店等の衛生管理指導業務を、生活衛生業務では、理・美容所、旅館等の営業施設、水道、特定建築物、畜舎等の環境衛生、狂犬病予防・動物愛護管理業務など幅広い業務を所掌している。健康危機管理事業として、感染症、食中毒、医薬品、飲料水、毒物劇物等により生じる、不特定又は多数の市民の生命、健康を脅かす事態に対し、市町村や医療機関等の関係機関と緊密な連携を図り、健康被害の発生予防、拡大防止、治療体制の確保、原因究明などの各種対策に取り組んでいる。

1 結核予防事業

管内の罹患率は、平成29年は15.4で平成28年の11.7より増加し、ここ数年は増減を繰り返しているが、10年スパンでみると減少傾向にある。登録者数は93名(28年は92名)、新登録患者数は42名(28年は32名)で新登録患者数は前年より増加している。新登録患者のうち、活動性肺結核患者名中で喀痰塗抹陽性患者は15名となり44.1%を占めている。患者管理においては、保健師によるDOTSを実施し、治療の促進、早期の社会復帰及び再発防止に努めたほか、結核専門医療機関とのDOTS会議を4回開催し、患者の治療状況等について意見交換を行い、患者管理・患者支援の推進を図った。

2 感染症予防事業

感染症予防事業については、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、感染症の発生予防、発生時の二次感染防止等に努めた。

平成29年は、3類感染症である腸管出血性大腸菌感染症の発生が7名で、原因究明と感染拡大防止に取り組んだ。

また、感染症の予防及び蔓延の防止等について、市や保育園・幼稚園、社会福祉施設等の職員を対象とした感染症に関する研修会を開催し、必要な知識の普及を図った。

3 エイズ予防対策事業

HIV検査及び性感染症検査、またこれらに対する電話及び面接相談を実施した。

定例(月1回)で日中及び夜間にHIV検査及び性感染症検査を実施した。検査の受検件数は171件であった。

また、性感染症の啓発普及活動として、2 高等学校において講演会を開催するとともに、世界エイズデーにあわせたエイズ予防啓発キャンペーンを行った。

4 原爆被爆者対策事業

管内在住の原爆被爆者手帳の交付数は、135件である。原爆被爆者手帳交付者に対して、保健所において年2回健康診断を実施し、延20名が受診し、医療機関で35名が受診した。

5 食品衛生事業

管内の食品営業施設は、許可を要する施設が4,250件、許可を要しない施設が2,237件の計6,487件ある。これらの営業施設に対して、食品の安全性を確保し、食品による健康危害の発生防止を図るために、食品衛生法に基づく食品衛生施設の監視指導を5,034件実施し、食品等の収去検査を76検体実施した。また、営業者及び集団給食施設従事者に食品衛生知識の普及、啓発を図るため、衛生講習会を17回実施し、1,696名が受講した。夏期には、食中毒予防強調月間中の8月3日(木)に市原市・市原市食品衛生協会と協力し、食品営業者及び市民に対する食中毒予防啓発広報活動を管内一円で実施した。食中毒は0件であった。

6 狂犬病予防事業及び動物愛護管理事業

狂犬病予防事業については、市原市及び獣医師会の協力のもと、犬の登録・狂犬病予防注射の促進を図り、また、犬による侵害防止対策として102頭を捕獲した。

動物愛護管理事業については、動物愛護精神の普及・啓発を図るため、6月の動物の正しい飼い方推進月間、11月の動物による危害防止推進月間などを中心に、犬だけでなく、愛護動物全般における正しい飼い方・危害防止について広報活動を行った。動物の飼養に関する指導・助言は569件、動物による苦情届出は427件であった。犬・猫の引取り数は134件、負傷動物の発見通報件数は22件であった。動物取扱業について、立入検査を77件実施し、特定動物の飼養及び保管施設については、立入検査を16件実施した。

7 環境衛生事業

環境衛生関係営業施設数は878件であり、各営業施設に対し、自主管理の徹底を促すとともに計画的・効率的な立入検査を380件実施し、衛生水準の確保に努めた。

また、これら営業施設で構成する市原市地区生活衛生同業組合連絡協議会の育成指導に努めた。

特定建築物数は67件中53件に立入検査を実施し、遊泳用プール施設10施設中10件に調査指導を行い、温泉利用施設は11件中7件に立入検査を実施した。

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

区分		年						
		平成 15年	平成 20年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年
管内人口		280,001	280,199	277,476	276,462	274,558	273,753	272,711
新登録患者数		76	49	37	47	40	32	42
年末時登録者数		208	131	107	103	82	92	93
結核死亡者数	管内	6	3	1	7	3	2	2
	千葉県	52	49	85	55	<u>62</u>	71	75
結核死亡率 (人口10万対)	管内	2.1	1.07	0.4	2.5	1.1	0.7	0.7
	千葉県	1.0	0.94	1.4	1.1	<u>1.2</u>	1.3	1.4
罹患率 (人口10万対)	管内	27.1	17.5	13.3	17.0	14.6	11.7	15.4
	千葉県	22.9	17.7	14.9	<u>13.8</u>	<u>13.7</u>	14.2	11.9
有病率 (人口10万対)	管内	27.1	11.4	8.3	9.4	9.1	5.1	9.5
	千葉県	21.2	14.1	9.7	8.8	9.0	9.1	7.4

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10万 / 人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万 / 人口

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核					罹 （人 口 10 万 対 ） 率	肺 結 核 の う ち の ち の 割 合 （ % ）	無 症 状 病 原 体 保 有 者 （ 潜 在 性 結 核 感 染 症 ）	疑 似 症 患 者	結 核 死 亡 者 の 体 数	結 核 死 亡 疑 い 者 の 体 数
			計	活 動 性 肺 結 核			肺 活 外 動 結 核 性						
				陽 喀 痰 塗 性 抹	結 核 菌 陽 性	そ の 他 の 性							
平成 27 年	40	40	14	8	7	11	14.6	48.3	12	-	-	-	
平成 28 年	32	32	16	10	2	4	11.7	57.1	21	-	-	-	
平成 29 年	42	34	15	13	6	8	15.4	44.1	16	-	1	-	

(3) 年末時登録者数 (活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核					不 活 動 性 結 核	不 明	有 病 率 （ 人 口 10 万 対 ）	無 症 状 病 原 体 保 有 者 （ 潜 在 性 結 核 感 染 症 ） （ 別 掲 ）	
			計	活 動 性 肺 結 核			肺 活 外 動 結 核 性				治 療 中	観 察 中
				陽 喀 痰 塗 性 抹	結 核 菌 陽 性	そ の 他 の 性						
平成 27 年	82	25	9	4	6	6	17	40	9.1	12	34	
平成 28 年	92	14	6	2	2	4	73	5	5.1	17	11	
平成 29 年	93	26	8	7	4	7	58	9	9.5	11	17	

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表1-(4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成27年		40	1	-	1	5	2	4	5	12	7	3
平成28年		32	-	-	1	3	3	5	7	7	5	1
平成29年		42	-	1	3	7	3	2	6	9	8	3

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表1-(5) 年末時登録者数(年齢階級別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成27年		82	2	1	5	10	12	10	13	16	11	2
平成28年		92	1	1	7	8	15	12	16	17	13	2
平成29年		93	1	1	7	12	12	9	16	21	13	1

(6) 患者面接実施状況

表1- (6) 患者面接実施状況

年		区分	人数 (人)	DOTS 内容 (延件数)														
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性				潜在性結核				
				入院時			退院後			訪問 面接	所内 面接	電話・ その他	薬 局	訪問 面接	所内 面接	電話・ その他	薬 局	
				訪問 回数	左の内訳		訪問 面接	所内 面接	電話・ その他									薬 局
初 回	期間 内	退院 前																
平成27年	保健師	3	46	14	30	2	22	14	16	-	24	20	70	-	3	16	39	-
	DOTS 支援員	2	-	-	-	-	12	-	1	-	43	-	13	-	-	-	12	-
平成28年	保健師	3	76	17	51	8	24	38	63	-	24	46	56	-	8	14	48	-
	DOTS 支援員	2	-	-	-	-	12	-	9	-	78	-	35	-	-	-	16	-
平成29年	保健師	3	69	15	46	8	24	47	90	-	17	51	137	-	12	59	98	-
	DOTS 支援員	2	-	-	-	-	31	-	1	-	-	-	40	-	1	-	15	-
	薬局	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
平成29年	患者数 (人)		15						27				16					

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

※平成29年から薬局DOTS実施

(7) DOTS実施状況

表1- (7) DOTS実施状況

(単位:人)

年		区分	全 結 核 患 者			潜在性結核 感染症
				肺結核患者(再掲)		
					肺結核喀痰 塗抹陽性患者 (再掲)	
平成27年	実施者数	33	28	16	14	
	患者数※	36	31	17	18	
平成28年	実施者数	33	24	13	9	
	患者数※	36	25	13	11	
平成29年	実施者数	37	32	18	21	
	患者数※	37	32	18	21	

※前年の新登録患者数(転入者を含み、治療開始1ヶ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について(情報提供)を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1-(8)-ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者 実数 ①	実施者 実数 ②	実施率 ② / ① (%)	実施件数 延件数	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成27年度	93	91	97.8	106	31	2	73	-	-	85	1	4	1	1.1
平成28年	115	109	94.8	145	44	4	97	-	-	103	1	4	1	0.9
平成29年	70	70	100.0	122	38	8	74	1	1	63	0	7	0	0
保健所	/			43	8	-	35	-	-	38	-	3	-	/
委託分				76	30	8	36	1	1	23	-	4	-	
その他				3	-	-	3	-	-	2	-	-	-	

※保健所採血等による実施は保健所に，受診券による実施は委託分に計上

※平成27年度以降は年（1月1日～12月31日）で集計

イ 接触者健診実施状況

表1-(8)-イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者 実人数 ①	実施者 実人数 ②	実施率 ② / ① (%)	実施件数 延件数	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成27年度	286	267	93.4	280	134	4	142	-	-	259	-	8	-	0
平成28年	362	339	93.6	416	178	9	229	-	-	318	5	15	1	0.3
平成29年	210	194	92.4	363	143	-	215	3	2	184	-	9	1	0.5
保健所	/			222	131	-	91	-	-	101	-	7	-	/
委託分				121	12	-	104	3	2	69	-	2	1	
その他				20	-	-	20	-	-	14	-	-	-	

※保健所採血等による実施は保健所に，受診券による実施は委託分に計上

※平成27年度以降は年（1月1日～12月31日）で集計

(9) 管理健診実施状況

表1-(9) 管理健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果(実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
平成27年	139	124	89.2	184	184	51	51	34	90	-	-
平成28年	120	108	90.0	150	150	25	25	36	73	-	-
平成29年	104	95	91.3	227	134	49	44	21	74	-	-
保健所	/			15	15	-	-	-	12	-	/
委託分				197	104	49	44	18	51	-	
その他				15	15	-	-	3	11	-	

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
				本人			家族			保険											
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成27年度	66	66	-	17	17	-	1	1	-	26	26	-	19	19	-	2	2	-	1	1	-
平成28年	85	85	-	23	23	-	4	4	-	36	36	-	17	17	-	2	2	-	3	3	-
平成29年	86	86	-	27	27	-	3	3	-	29	29	-	17	17	-	7	7	-	3	3	-

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総数	被用者保険			国民健康 保 険	後期高齢者	生活保護法	そ の 他
		本 人	家 族					
平成27年度	20	3	2	8	6	1	-	
平成28年	20	5	1	8	5	1	-	
平成29年	17	-	-	6	8	3	-	

※本表は実人数で計上

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分 年	総数
平成27年度	20
平成28年	17
平成29年	15

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長通知数 (20条第4項)
平成27年度	18	17	23
平成28年	16	16	24
平成29年	14	14	31

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(11)-ウ 入院措置数 (単位:件)

区分 年	入院措置数
平成27年度	0
平成28年	0
平成29年	0

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位:件)

年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm未満	30mm以上	未就学児	小学生	その他
平成27年度	-	6	3	3	-	6	-	-
平成28年	-	13	3	7	3	9	4	-
平成29年	-	8	-	8	-	8	-	-

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位:件)

年	IGRA検査数(延件数)		結果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
平成27年度	74	91	137	15	12	1
平成28年度	69	152	186	9	26	-
平成29年	139	42	152	13	16	-

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況

(単位:件)

年	総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成27年度	126	210	106	95	20	115
平成28年	-	418	-	308	-	110
平成29年	141	244	126	140	15	104

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1-(14) 定期結核健康診断実施報告状況

(単位：人)

年 区分	項目			間 接 撮 影 件 数	直 接 撮 影 件 数	喀 痰 検 査 件 数	発 病 の お そ れ が あ る 者 の 数	患 者 発 見 数 ③	患 者 発 見 率 ③/② (%)	
	対 象 者 数 ①	健 診 者 数 ②	健 診 率 ②/① (%)							
平成 27 年度	89,418	26,304	29.4	13,931	12,373	3	0	0	0	
平成 28 年	89,817	23,857	26.6	5,768	18,077	169	0	2	0.01	
平成 29 年	90,637	23,408	25.8	9,773	13,543	210	0	2	0.01	
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)	2,506	2,472	98.6	1,464	1,018	0	0	0	0
	施設長 福祉施設入所者 (65歳以上)	1,634	1,607	98.3	289	1,318	0	0	0	0
	施設長 その他施設 入所者	1,001	964	96.3	510	454	0	0	0	0
	事業者	9,139	8,911	97.5	1,849	6,960	4	0	2	0
	市町村長	76,357	9,454	12.4	5,661	3,793	206	0	0	0

※平成27年度以降は年(1月1日～12月31日)で集計

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2-(1) 1類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
平成29年	-	-	-

(2) 2類感染症発生状況(結核は除く)

表2-(2) 2類感染症発生状況 単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
平成29年	-	-	-

(3) 3類感染症発生状況

表2-(3) 3類感染症発生状況 (単位:人)

病類 年・市町村	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性	腸チフス	パラチフス
				大腸菌 感染症		
平成27年	3	-	-	3	-	-
平成28年	7	-	1	6	-	-
平成29年	8	-	1	7	-	-
市原市	8	-	1	7	-	-
その他 (管外)	-	-	-	-	-	-

(4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症病発生状況

(単位:人)

疾患名	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
1 E型肝炎	2	2	2
2 ウエストナイル熱	-	-	-
3 A型肝炎	2	-	-
4 エキノコックス症	-	-	-
5 黄熱	-	-	-
6 オウム病	-	-	-
7 オムスク出血熱	-	-	-
8 回帰熱	-	-	-
9 キャサヌル森林病	-	-	-
10 Q熱	-	-	-
11 狂犬病	-	-	-
12 コクシジオイデス症	-	-	-
13 サル痘	-	-	-
14 ジカウイルス感染症	-	-	-
15 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	-	-	-
16 腎症候性出血熱	-	-	-
17 西部ウマ脳炎	-	-	-
18 ダニ媒介脳炎	-	-	-
19 炭疽	-	-	-
20 チグングニア熱	-	-	-
21 つつが虫病	1	2	4
22 デング熱	-	-	-
23 東部ウマ脳炎	-	-	-
24 鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く)	-	-	-
25 ニパウイルス感染症	-	-	-
26 日本紅斑熱	-	-	-
27 日本脳炎	-	-	-
28 ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29 Bウイルス病	-	-	-
30 鼻疽	-	-	-
31 ブルセラ症	-	-	-
32 ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33 ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34 発しんチフス	-	-	-
35 ボツリヌス症	-	-	-
36 マラリア	-	-	-
37 野兎病	-	-	-
38 ライム病	-	-	-
39 リッサウイルス感染症	-	-	-
40 リフトバレー熱	-	-	-
41 類鼻疽	-	-	-
42 レジオネラ症	2	2	1
43 レプトスピラ症	-	1	-
44 ロッキー山紅斑熱	-	-	-

※14の疾患は平成28年2月より届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況

(単位：人)

疾患名		平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
1	アメーバ赤痢	1	3	-
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	-	-	1
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	-	1
4	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	5	-	8
5	クリプトスポリジウム症	-	-	-
6	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	-
7	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	-
8	後天性免疫不全症候群	2	4	-
9	ジアルジア症	-	-	-
10	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	-
11	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
12	侵襲性肺炎球菌感染症	1	7	10
13	水痘(入院例に限る。)	-	-	-
14	先天性風しん症候群	-	-	-
15	梅毒	3	4	8
16	播種性クリプトコックス症	-	1	-
17	破傷風	-	-	-
18	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
19	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	-	-
20	風しん	-	-	-
21	麻しん	-	-	-
22	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

※3, 13, 16の疾患は平成26年9月より届出の対象となった

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数

(単位：箇所)

インフルエンザ	小 児 科	眼 科	性 感 染 症	基 幹	疑 似 症
11	7	2	2	1	4

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況

(単位：人)

	疾 患 名	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	2277	4296	4625
2	RS ウイルス感染症	50	55	91
3	咽頭結膜熱	45	44	57
4	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	441	417	225
5	感染性胃腸炎	2098	2293	1866
6	水痘	155	93	140
7	手足口病	625	215	531
8	伝染性紅斑	351	84	6
9	突発性発しん	119	128	117
10	百日咳	19	24	12
11	ヘルパンギーナ	223	256	293
12	流行性耳下腺炎	409	295	64
13	急性出血性結膜炎	-	-	5
14	流行性角結膜炎	134	149	123
15	性器クラミジア感染症	17	27	18
16	性器ヘルペスウイルス感染症	5	6	2
17	尖圭コンジローマ	2	1	0
18	淋菌感染症	3	3	5
19	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	10	10	19
20	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-
21	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	4	6	5
22	マイコプラズマ肺炎	6	31	7
23	無菌性髄膜炎	10	18	6
24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-
25	メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染	12	14	14
26	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	2	-	-	1
検体提供数 (件)	15	-	-	4

(6) その他

表 2 - (6) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位：件)

年度 区分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
			学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
平成 27 年度	51	1447	112	28	1	-
平成 28 年度	52	1024	97	15	2	-
平成 29 年度	72	1826	153	43	1	-
幼 稚 園	6	61	5	2	0	-
小 学 校	49	1264	106	27	1	-
中 学 校	15	451	41	5	-	-
高等学校	1	10	1	-	-	-
そ の 他	1	40	-	9	-	-

(7) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表 2 - (7) - ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度	病類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 29 年度		-	-	-

イ 2類感染症

表 2 - (7) - イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況 (結核は除く)

年度	病類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 29 年度		-	-	-

ウ 3類感染症

表2-(7)-ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況
(単位：調査(人)，検便(件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌 感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
平成27年度	6	7	-	-	-	-	6	7	-	-	-	-	1
平成28年度			-	-	2	3	6	14	-	-	-	-	1
平成29年度			-	-	-	-	10	38	-	-	-	-	3

エ 4類感染症

表2-(7)-エ 4類感染症健康調査状況 (単位：人)

区分	疾患名	調査
平成29年度	E型肝炎	2
	つつが虫病	2
	レジオネラ症	1

オ 5類感染症

表2-(7)-オ 5類感染症健康調査状況 (単位：人)

区分	疾患名	調査
平成29年度	感染性胃腸炎 4ヶ所	74

(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査(人))

区分 年度	総 数	管外での感染症 発生に伴う調査数 (検疫通報除く)	自主申告による 調査数	検疫通報に伴う 接触者及び同行者 調査数	検便実施者数 (件)	検 出 菌			
						コレ ラ	赤 痢	○ 157	そ の 他
平成27年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成28年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成29年度	3	3	-	-	3	-	-	3	-

(9) 衛生研究所への確認検査依頼数

表2-(9) 衛生研究所への確認検査依頼数 (単位：件)

区 分	疾 患 名	結 果		計
		陽 性	陰 性	
平成29年度	麻しん	-	6	6
	急性脳症	5	1	6
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	-	1
	カルバパネム耐性腸内細菌科細菌	1	-	1
	つつが虫病	1	-	1
	日本紅斑熱		2	2
	デング熱・ジカ熱・チクングニア熱		2	2
	重症熱性血小板減少症候群		2	2

(10) 就業制限通知数（結核を除く）

表2-(10) 就業制限通知数 (単位：件)

区分 年度	疾 患 名		計
	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	
平成27年度	-	3	3
平成28年度	2	6	8
平成29年度	-	8	8

(11) 感染症予防啓発活動実施状況

表2-(11) 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
平成29年 4月4日	市原市 保健センター	「ノロウイルスと結核の予防・ 対応について」 健康生活支援課職員	市原市内 小・中学校 養護教諭	73人
平成29年 6月12日	市原市 保健センター	「感染性胃腸炎について（嘔吐物 の処理、手洗いの実技含む）」 健康生活支援課職員	市原市 教育研究会 定例集会	16人
平成29年 8月25日	姉崎保健福祉 センター	「感染症の救急受診の必要性」 帝京大学ちば総合医療センター 小児科医師 山下喜晴 氏 「保育所・幼稚園における感染症 対策について」 健康生活支援課職員	乳幼児 救急医療 講習会	25人
平成29年 10月20日	姉崎保健福祉 センター	「社会福祉施設等におけるインフ ルエンザ予防対策について」 帝京大学ちば総合医療センター 感染管理認定看護師 白石央子氏	社会福祉施 設の感染症 担当職員等	51人

3 エイズ対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数 (人)
平成29年 6月12日	千葉県立 姉崎 高等学校	医師による 講演会	「エイズと性感染症 について」	高校生・ 教職員	500
平成29年 7月19日	千葉県立 市原緑 高等学校	助産師 による 講演会	「知っておきたい 思春期の性 ～将来のために今 伝えたいこと～」	高校生・ 教職員	410

イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表 3 - (1) - イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
平成29年11月30日	J R 五井駅周辺において、エイズ予防啓発リーフレット及びキャンペーングッズを配布した。

(2) エイズ相談受付状況

表 3 - (2) エイズ相談受付状況 (単位 : 件)

年度	性別 相談方法	男	女	小計	合計
		平成 27 年度	電話相談	0	0
来所相談	66	46	112		
そ の 他	-	-	-		
平成 28 年度	電話相談	1	0	1	64
	来所相談	39	24	63	
	そ の 他	-	-	-	
平成 29 年度	電話相談	1	4	5	182
	来所相談	121	56	177	
	そ の 他	-	-	-	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況 (単位: 件)

年度 年齢階級		性別		合計	外国籍 者数(人)	確認検査 件数
		男	女			
平成27年度		64	44	108	2	1
平成28年度		38	24	62	2	0
平成29年度		118	53	171	0	0
年 齢 階 級	～19歳	1	3	4	0	0
	20歳～29歳	34	18	52	2	0
	30歳～39歳	40	17	57	0	0
	40歳～49歳	26	12	38	0	0
	50歳～59歳	7	2	9	0	0
	60歳～69歳	10	1	11	0	0
	70歳～	0	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0

※HIV検査及び性感染症検査は、毎月定例(月1回)で日中・夜間検査を実施
(平成27年9月から平成28年3月までは庁舎耐震工事に伴う仮庁舎移転により、
3カ月に1回の休日検査として実施した)

表3-(3)-イ 性感染症・肝炎検査受付状況 (単位: 件)

検査 性別	クラミジア検査			梅毒血清検査			肝炎検査					
							C型肝炎検査			B型肝炎検査		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
年度												
平成27年度	68	42	26	106	63	43	104	61	43	104	61	43
平成28年度	11	9	2	60	36	24	57	34	23	57	34	23
平成29年度	146	105	41	168	115	53	172	118	54	173	118	55

※クラミジア検査は平成27年度から病原体検査, それ以前は抗体検査

※HIV検査及び性感染症検査は、毎月定例(月1回)で日中・夜間検査を実施
(平成27年9月から平成28年3月までは庁舎耐震工事に伴う仮庁舎移転により、
3カ月に1回の休日検査として実施した)

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表4- (1) 被爆者手帳交付状況 (単位：件)

年度 市町村	区分	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
平成27年度		157(10)	-	1	2	8	148(10)
平成28年度		148(10)	-	1	0	6	143(10)
平成29年度		143(10)	-	1	0	8	135(10)
市原市		143(10)	-	1	0	8	135(10)

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表4- (2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年度	施設	対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数	
平成27年度	保健所	前期	164	6	3.7	5
		後期	160	11	6.9	6
	委託医療機関			32		14
平成28年度	保健所	前期	144	11	7.6	7
		後期	143	10	7.0	10
	委託医療機関			26		17
平成29年度	保健所	前期	141	6	4.2	5
		後期	136	14	10.2	8
	委託医療機関			35		18

(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況

表4- (3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総数		136	130	127
医療特別手当		7	10	7
特別手当		-	-	-
原子爆弾小頭症手当		-	-	-
健康管理手当		110	105	101
保健手当		11	11	11
介護手当		-	-	-
埋葬料		8	4	8
健康手当		117	115	108

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。